

鎖骨と就活

桜井芳生著作権保持 050822

(例の就活本の下書きです。無断引用をお断りします。ご意見ご感想などおよせください。)

Sakurai.yoshio@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/sakuraiyoshio/>

050802【おじさんは、ミニスカート、が、大好き！】

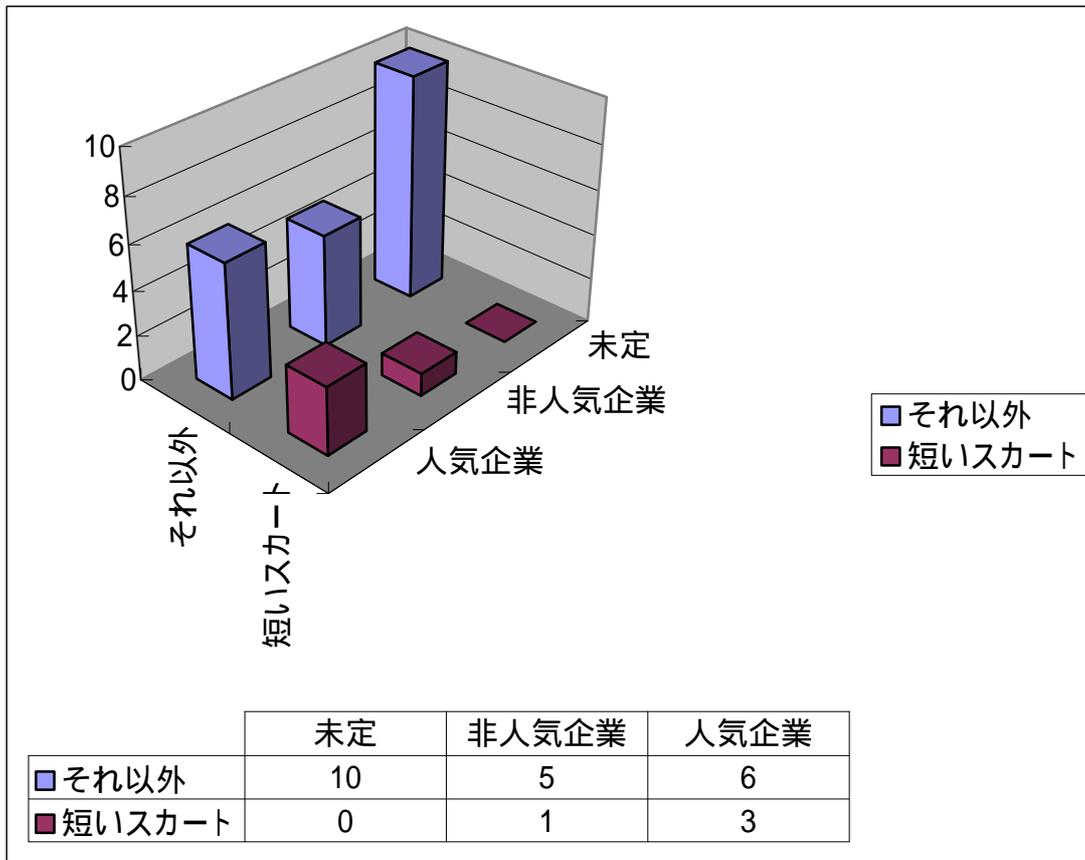
050802「おじさんたちは、ミニスカートが、好き」。この主張はべつに「論証」しなくてもいいでしょう？。男性の多くが、ミニスカートをはいた女性をこのみますよねえ。

050802 問題は、それは、就職採用に「効いて」いるか、ということですね。

050802 ちょっと、ふるい本ですが、『女子大生、就職の常識はウソばかり、面接官のホンネ』という本がとても参考になります(！！著『面接官のホンネ』とは別著ですので注意)。

050802 それによると、、、、、、結局、同じぐらいの評価の女子大生だったら、ルックスが優先されてしまう、ということです。

050802 でも、これふるい本なんで、いまどうなんでしょう？。



2

050802 例によって、われわれがおこなった調査のグラフです。総人数が少ないので、あくまで、参考にとどめるべきでしょうが、

短いスカートを就活で利用した女子学生さんは、人気企業に就職した傾向がたかく、また、短いスカートを利用した人が全員が就職し、そうでない人は人気企業に就職する傾向が低く、さらに、就職が未定の人半数近くにはのぼることがわかります！。

もちろん、短いスカートを利用しなくても人気企業に就職した人たちも当然います。しかし、あくまで、「割合」としては、短いスカートは、「人気企業に就職する」に際して、も、「就職未定にならないため」にも、効果の大きさが示唆されます。

スカートのたけだけでなく、たとえば、化粧の効果は、どう、でしょうか？。

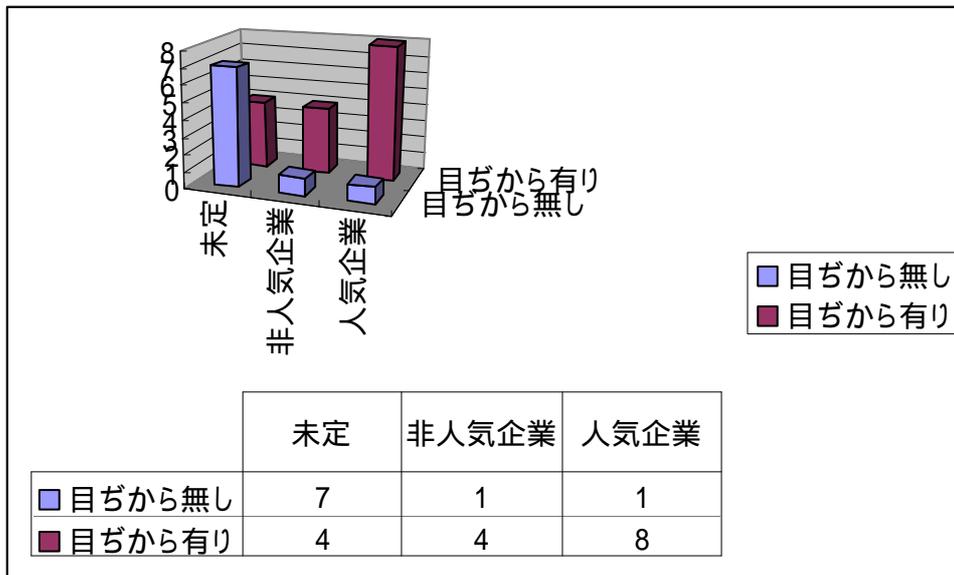
以下のような質問をしてあります。

AA 女性にのみうかがいます。「フルメイクした後のアナタ」は、いわゆる「目ヂカラ」がある

ほうですか。

6 . かなり、ある。 5 . まあ、ある。 4 . どちらかという、ある。 3 . どちらかという、ない。 2 . まあ、ない。 1 . ない。

ので、これも、就職の結果とかけあわせてみましょう。



ここからも、フルメイク後「目ざから」のないひとは、就活上非常に不利であることがわかるでしょう。

050803【魅力と「色気」は、ほとんど同じ】

050803 いうまでもなく、就職面接もひととひととの「出会い」です。出会って、一方が、「ああこの学生となら、いっしょに仕事してみたいなあ」とおもうかどうかの勝負なわけです。

050803 ここで、人間的な魅力がおおきなウエートをしめるのはいうまでもないでしょう。

050803 「人間的な魅力」といっても、わかりにくいでしょう。

050803 人間的な魅力、それは、「ひろい意味での色気」だ、といてしまえば、すこしはわかりやすくなるでしょう。

050803 しかし、学生さんの多く、とくに女子大生は、【わざと、すでにある色気を、消す】ようなメイク・服装をしている人がとても多いです。

050803 ここで、ポイントは二つあります。それは、「1. そのような色気を消すような振る舞いが、面接官にとって、マイナスのメタメッセージをもってしまう」ということ、「2. では、おじさんおばさん世代にもうける色気を、どのように(しかもいやらしくなく)だしたらいいのか」ということです。

050803 第一の点からのべてみましょう。学生さんは、「大人世代に対して、無礼になっ
てはいけない」と意識して、無難な化粧・服装をしています。

050803 しかし、多くの学生さんをおかげひなた?からみてきたわたしからすると、学生さんたちの「無難なリクルートルック」は、「真空状態の大人社会(大学の外)に行くための、防護服」といった心理的な機能をもっているようです。それが、「ひざをかくしたスカート」「おでこをかくしたまとめた髪型」「しめた胸元」「他の学生たちと全く同じ色で、結果的にカモフラージュ効果をもっている地味な色」「いつでも逃げ出せるような低いヒール」、、、などにあらわれています。

050803【「おじさん面接官たち」の「さびしい・いじけた」ところ、を知っていますか?】

050803 みなさんは、面接「受ける」のが、精一杯で、面接「する方」の視点にたったことがないでしょう。

050803 おしえてあげましょう!!。「おじさん面接官」たちの、「さびしい・いじけた」ところを。

050803 「わかっているさ!。どうせ、ぼくたちおじさんたち、なんとか、ところをひらいて、いっしょに、チームワーキングする気なんか、ないんだろ!。だから、防護服のような服装で来て、「御社の将来性にひかれました、、、」とかいった「ココロにもない、美辞麗句」で、「とりつくろって!」どうせ、面接室を出てドアを閉めた瞬間に『あー、おわった、おわった。クー、オッサンの相手するのは、くったびれるなあー。おわった、おわった、のみいこ、のみー』って、なるんだろ!。わかっているさ、どうせ、ボクなんか、オッサンだよ。どうせ、どうせ、、、どうせ、、、どうせ、、、ドウセ、、、ドウセ、、、ドウセ、、、、」

おじさんたちの、さびしいココロ、すこしは、つたわりました?。

050803 多くの学生さんは、そんなことないだろ、って、おもうでしょ?。

しかし、たとえば、なかなかいいところまでいくのに、最後の内定がとれない、という女子学生さんがいました。模擬面接してみると、「おでこかくして」いるんです。

わたしの、アドバイスはたったひとつ、「次の面接では、おでこ出せ！」。その学生さん、次の面接で、さらっと、内定をとりました。

050803 それ以来、われわれの就活ゼミでは、このテクを、「デコ出し」とよんでいます。

050803 あと、これもわれわれの就活ゼミで、写真をみて研究するのは、女優の菊川怜さんの写真です。「法人会」とか「資源エネルギー庁」とか「納豆クイーン」など、お堅いおじさんの集団が、菊川怜さんをお好みます。お好みの理由は、もちろん、東大卒で、聡明そうだから、ということもあるでしょう。しかし、法人会のポスターをみればわかるとおり、菊川怜は、すべて、胸元をあけて「鎖骨」をだしています。このような、「知的でガードかたそう、でも、胸襟（胸元のこと）を開いている」彼女におじさんたちはまいってしまうのでしょうか。





050803 服装は、メタメッセージです。「膝小僧」「おでこ」「鎖骨」といった、ちょっとした【人体の急所】を、「ガード」しているのか、「ひらいているのか」で、【あなたのホンネ】が、面接官に【読み込まれて】しまうのです。

050803 そのためには、日頃のキャンパス生活での服装よりも、「閉じること」のないように、注意しましょう。

050803 しかし、それだけでは不十分です。なぜなら、若者と大人とでは、ルックスについての好み（テイスト）が異なるからです。たとえ「閉じて」いないつもりでもいまのわかものにはやっている風体では大人たちに誤解される危険があります。

しかし、ひとつ、いい方法があります。

050803 【フライトアテンダント（スチュワーデス）受験本を参考にする】

050803 この点にかんしては、いま出版されている就活参考書のなかには、あてにできるものはありません。就活メイクなど指南した本もありますが、無難第一で、上記のような「短いスカート有利」「目ぢから有利」であると真実を語ったものはありません。

050803 わたしも社会学者なので、わかるのですが、最近の世間は、ジェンダーバイアスに敏感になっているので、性差別的な発言ととられかねない記述に慎重になっているのが、このような「無難な常識のウソ」ばかりかかれてしまう一つの原因でしょう。

050803 そうようななかで、おすすめできる一群の本があります。それは、フライトアテンダント（いわゆるスチュワーデス）の受験参考書です。いまや、フライトアテンダントもルックスだけでは、採否は決まらないようですが、それでも見た目が「全世代に受ける人」が有利なのは、いうまでもないでしょう。

このような、意味で「すべての世代にとって、魅力的にみえる方法」を手取り足取りおしえてくれます。

050803 具体的には、『誰でもキレイに見えちゃうスッチー式美人術』[柏木 理佳](#) (著)、
『スチュワーデス/スチュワード受験面接の本 面接』 イカロス MOOK [月刊 エア
ステージ 編集部](#) の二冊を、チョーおすすめですよ。この本のテクをつかって、人気デ
パートの正社員に内定された女子学生さんが、複数存在します。

+ + + + + + + + +